



その13

=自己主張・自己選択・自己決定= =親(大人)の願い・手法・行動=

「自己主張」→ して欲しい事を言葉で伝える。自分の気持ちや考えを言葉で表現する。
相手に受け入れられる表現を使う。NO(できない・分からないなど)が言える。
「自己選択」→ 自分で決める。決めたことに対しての結果を受け入れる。
「自己決定」→ 意思や願いに基づき思いを決定する。

子どもの成長過程において、大人が「成長や行動の制限」をして、出来ることなのにSTOPをかけていませんか?
「○○だから..」「こだわりが強いから」「以前やったけど、興味を持たなかった(できなかった)」「好きでない」
などと、勝手に決めつけていませんか? それは大人の都合と言いつつですね。

子どもだけでなく、人は変われます!成長できます!ましてや子どもは毎日成長しています!
昨日、イヤ!5分前までできなかったことも、その5分後には出来ている事もあります。

大人の「ひと押し!と根気と勇気」が必要不可欠!「出来ない」と思っているのは子どもが伸びません!
そして、子どもの成長時期(タイミング)は待ってくれません!
大人の「(もう一回)やってみよう!」の気持ちがないとダメですね。

自己主張・自己選択・自己決定が苦手な子ども達の事を思うと、

親御さんの「願い」「手法」「行動」が、子ども達の成長を左右してしまうかもしれませんね。

とにかく、やってみないと、「出来るか、出来ないか」「今がタイミングなのか、そうでないか」も分かりません!!

願い → どうなって欲しいか、何を身に付けて欲しいか考える。
手法 → 子どもの特性・性格・こだわりなどを考慮し、どんな方法でどれくらいの期間でやるか考える。
行動 → 物事の環境を整え実行。

これらは、「直したい事」や「辞めさせたい事」も同じです。「こだわり」も、やりようではとかなったりします。

<スイッチでは...>

「自分で考える。」そして、「伝える。」は基本です。状況によって、敢えて「抽象的」な表現で伝え、
「具体的」に答えてもらっています。

「自分で考える」と言う事が結局、「自己主張・自己選択・自己決定」に繋がることなんですよ。

親になんでも考えてもらい、やってもらう事が普通になってしまっている子が殆どの時代です。でもこれって、
大人がやり過ぎてしまっている。もしくは、出来ないからと決めつけてしまっている結果でもありますよね。

自分でやらせる!考えさせる!そして待つ!これが本当に重要で大切なんです☆

私たち大人は、ヒントを与え、きっかけをつくり待ちましょう。

スイッチではこれがコミュニケーションの基本でもあります。

中学生・高校生生活、そしてその先の未来の生活に向けて、身に付けたい力です。分かっているけど、やっぱり心配だし、
どうやっていいかわからない、最後のひと押しが出来ない...などあると思います。

「一人でやらせる、大人の勇気。」その、親御さんの一歩を押すお手伝いをスイッチがやらせて頂きます☆